

現地報告① ラジオアンケート調査

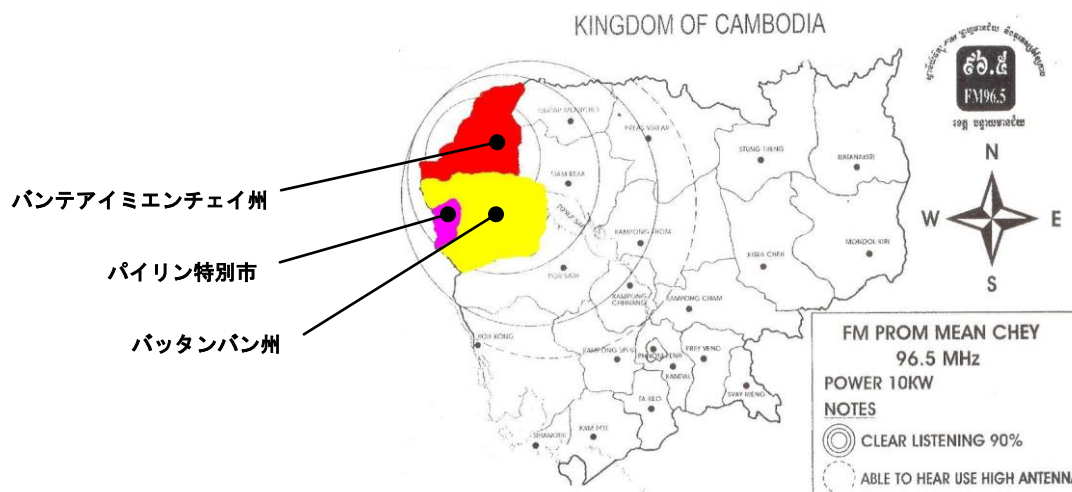


地雷・不発弾の被害にあった人々の精神的ケア、地雷・不発弾の知識の啓蒙による新たな被害者の減少を目的として2006年8月から11月までの4ヶ月間、カンボジアの中でも特に地雷・不発弾の被害者の多い地域をターゲットエリアとして放送されたラジオプログラム「VOICE OF HEART」。

多くのリスナーから反響の声が寄せられ、この番組の存在意義を確かめることができた。しかしながら、はたして全体としてどれだけの人が我々の番組を聴き、また、聴いてどのように感じたのであろうか。これらのことを調べるために、ラジオの可聴域で2,000人を対象にアンケート調査を行った。

各地に配られた「VOICE OF HEART」の広告

- 対象： 地雷被害者の多い州で暮らす住人 **2,000** 人
 構成： 障害の有無別・・・障害有 317 人、障害無 1,683 人
 地域別・・・バタンバン 633 人、バンテアイミエンチェイ 773 人、
 パイリン 594 人

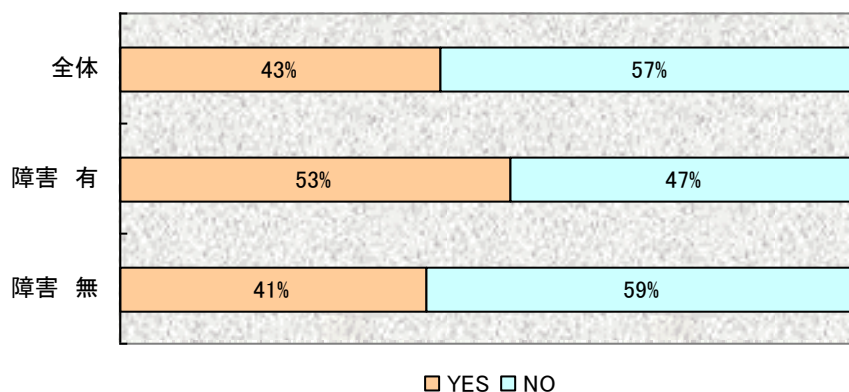


バンテアイミエンチェイ FM96.5 の可聴域

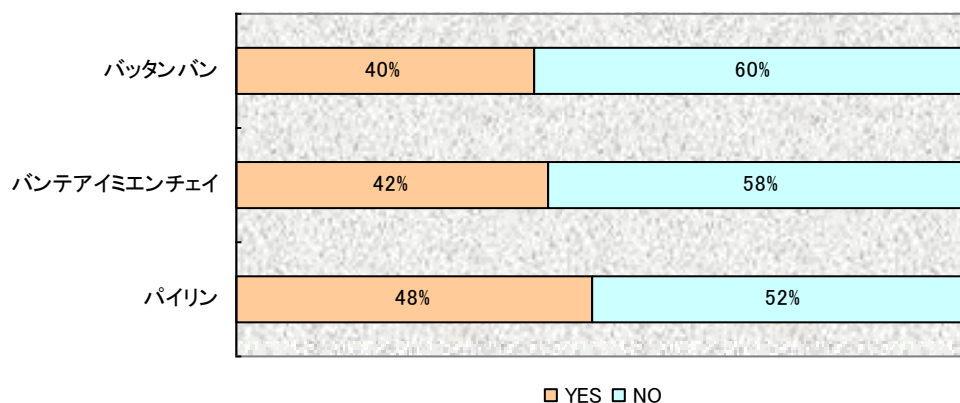
①視聴率はどうであったか？

可聴エリアの住民 2,000 人に質問

Q: VOICE OF HEARTを聴いたことがありますか？



地域別

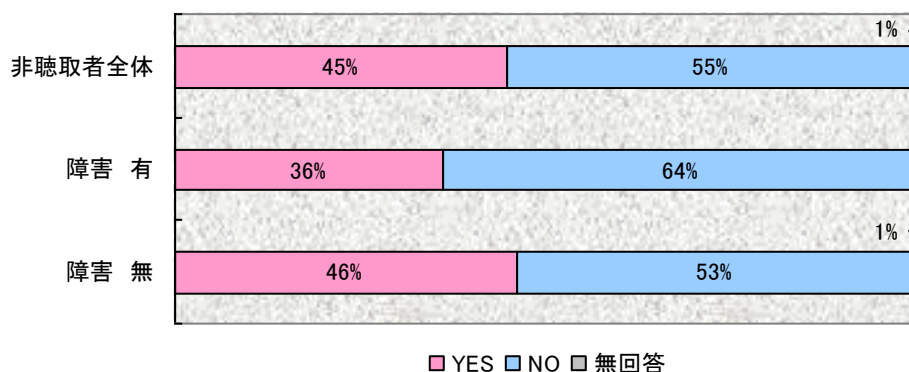


前回（2005年1月）の放送では全体の視聴率は20%であったが、今回は43%と飛躍的に伸びた。理由としては、放送期間を長期化したことでリスナーを多く獲得することに成功したことが挙げられる（前回の放送期間は1週間）。また、グラフから、特に障害を持った人の視聴率が高く、過半数の人が聴いていたことが分かる。

②なぜ聴かなかったのか？

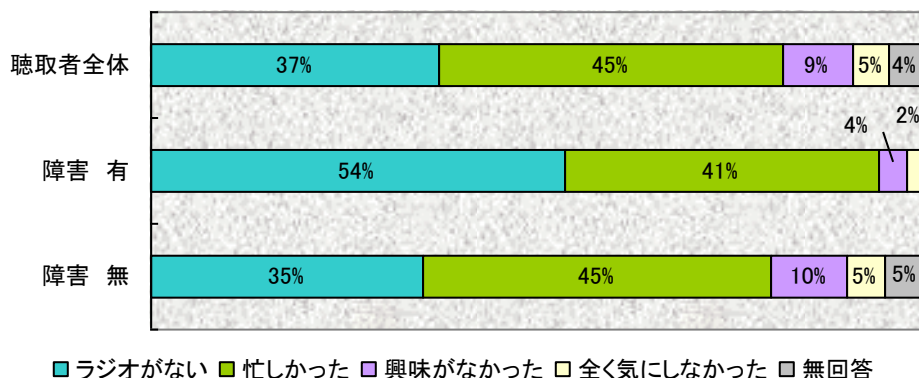
VOICE OF HEART を聴かなかった人への質問

Q: 番組を知っていましたか？



VOICE OF HEART を知っていたが聴かなかった人への質問

Q: どうして番組を聴かなかったんですか？

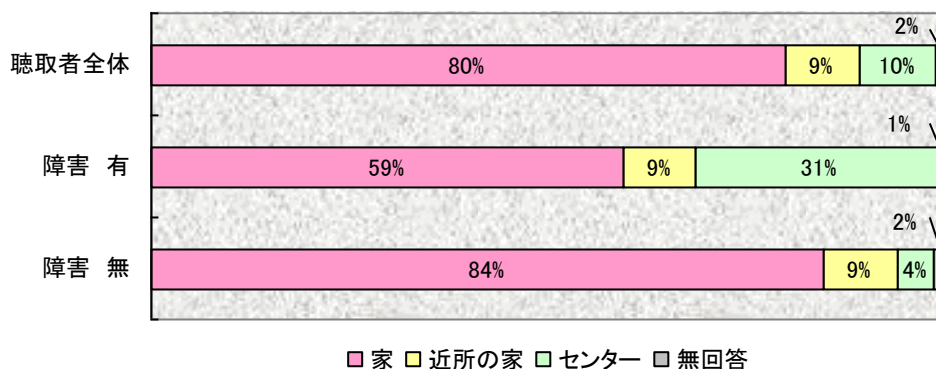


番組を聴かなかった人のうち 45% の人は番組の存在を知っていた。そこで、知っていたのになぜ聴かなかったかを尋ねたところ、障害を持った人では「ラジオがないから」という回答が一番多く聞かれ、障害を持たない人では「忙しいから」が最も多かった。

③ 聴いた人はどうであったか？

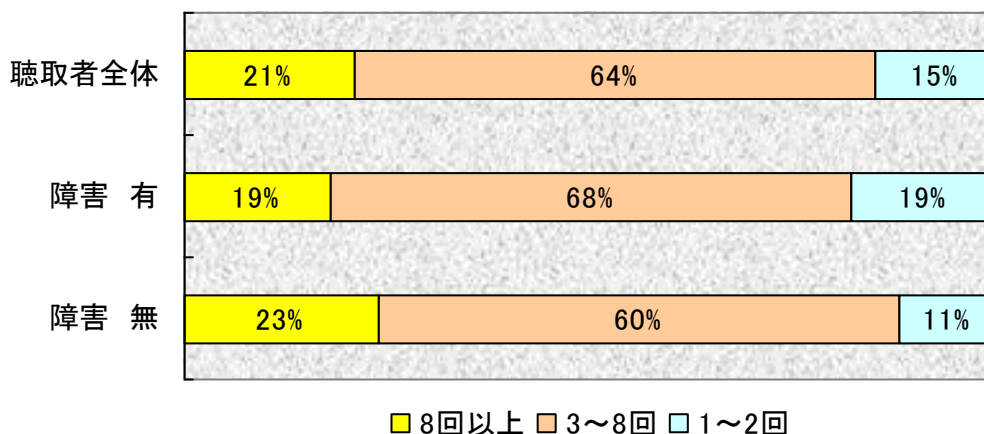
VOICE OF HEART を聴いた人全員への質問

Q:どこで聴きましたか？



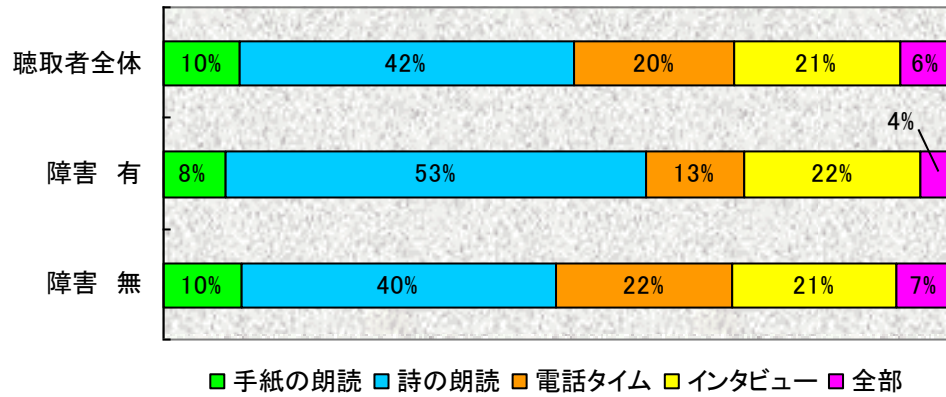
どこで聴いたか、という質問に対しては、「家」という回答が一番多かった。また、障害を持った人においては全寮制の各種支援センターで番組を聴いた人が31%いた。

Q: VOICE OF HEARTをどのくらい聴いたことがありますか？ ※注1



「VOICE OF HEART」の放送回数はラジオ局2局で合計16回であったが、ほとんどの人が3回から8回聴いていた。8回以上と答えた方は1つの局で欠かさず聴いたか、2局両方で番組を聴いていた方である。

Q: どのコーナーが一番好きですか？



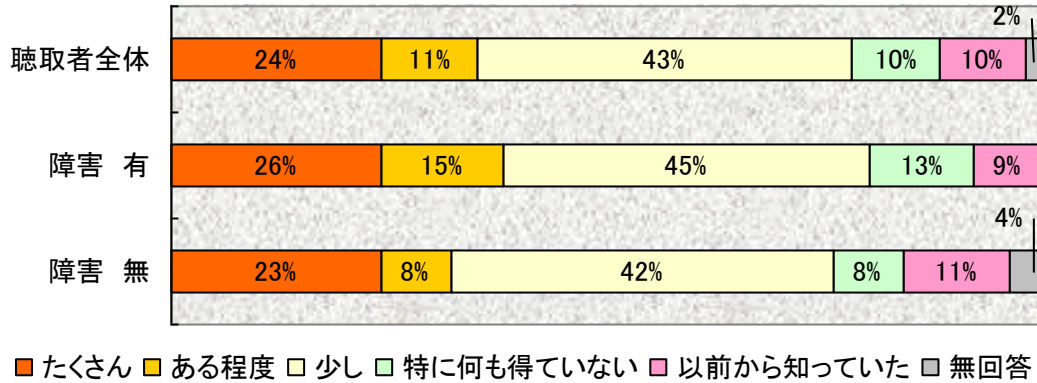
最も人気のあるコーナーは障害者の気持ちを綴った詩の朗読のコーナーであった。短い詩の中に込められた障害者の心の叫びがリスナーの心を強く打った。

リスナーの声！

- ・詩を聞いて、他の障害者がどんな悩みを抱えているのかが分かって、同じ障害者としてとても共感しました。
- ・まるで私の辿ってきた人生をあらわしているかのような詩を聞きました。同じ悩みを分かち合える人がこの世にいるんだ、と思うとなんだかやる気が出てきます。もう運命を恨むのはやめにします！
- ・詩のリズムが心地よく、穏やかな気持ちで聴けました。
- ・詩は短い文章で簡潔に私たち障害者の心の奥底に秘められた気持ちを表してくれるから好きだ。
- ・詩のコーナーは本当に励みになります。私たち障害者の想いを表現できる機会を与えてくださって本当にありがとう！
- ・地雷の知識を何も知らない子供たちにとって、電話での地雷に関するクイズやディスカッションは地雷回避の教育として非常に役に立つと思います。
- ・電話のコーナーでは、地雷原に入ることがどれだけ危険なことであるかがわかった。
- ・私も番組中に電話を通して障害者の悩みや経済的な苦勞、それから私たちに対する耐え難い差別について社会に訴えたい！なりたくて障害者になったんじゃないんだよ！
- ・ディスカッションで率直な意見が交わされ、地雷被害の問題について考えさせられました。
- ・インタビューで地雷被害者やその家族が直面する本当の苦勞や悩みが分かることができる。
- ・インタビューを聴く前は障害者のための無料の職業訓練校（CWARS）があるなんて知りませんでした。だから知ることが出来て本当に嬉しいです！知る前は自分でお金を払ってでもスキルを身につけたいと思っていました。番組を聴いてから、同じ障害者の友達も誘って CWARS に来ました。今は TV 修理を学んでいます。ありがとうございました！
- ・地雷や不発弾の被害者へのインタビューで、事故当時、彼らに何が起こったのかがよくわかるから、今後の地雷被害の減少につながるのでは。
- ・インタビューを聴いて、障害者は物乞いをするだけかと思ったが、一生懸命勉強をして、職業訓練校で技術を身につけて頑張っている人もいることがわかって、見方が変わった。
- ・私も手紙を書いて「地雷は本当に残酷です。どうか私のように地雷を踏まないで！」と地雷の危険性を訴えたいです。

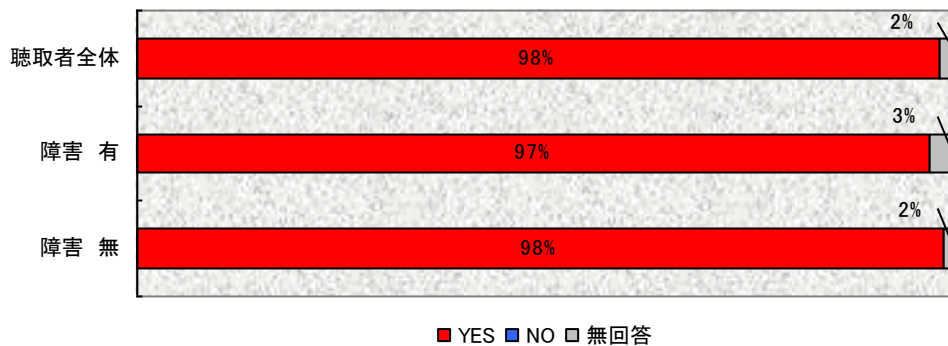
赤・・・障害を持っている人 黒・・・障害を持っていない人

Q: 番組を聴いて地雷や不発弾のことやその危険性について情報を得ましたか？ ※注1



地雷・不発弾の危険性を知ってもらうことで新たな被害者を減少させることはこの番組の目的の1つである。グラフから、大半の人が危険性を少なからず認識できたと答えている。

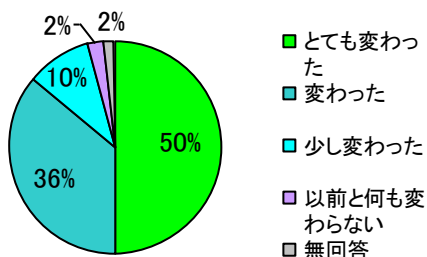
Q: 今後番組を聴きたいですか？



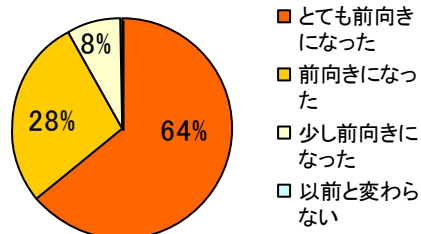
アンケート用紙への記入漏れ等の無回答こそあるが、ほとんど全ての人が今後も番組を聴きたいと答えた。「VOICE OF HEART」のニーズの高さを改めて確認できる。

VOICE OF HEART を聴いた障害を持つ人への質問 ※注2

Q: 番組を聴いて自分の生活の中で何か変わったことはありますか？



Q: 番組を聴いて前向きに考えるようになりましたか？

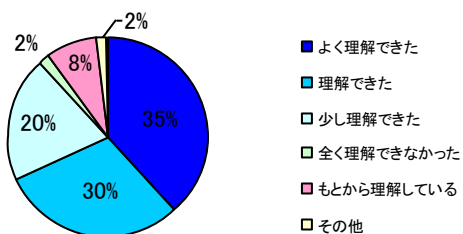


番組を聴いた障害者のうち 96%の人が何らかの形で生活に変化があったと回答し、100%の人が前向き思考へと気持ちに変化したと答えた。障害を持つ人がこのように生きる希望を取り戻し、はつらつと人生を歩んでいければ「VOICE OF HEART」の目的は達成されたことになる。

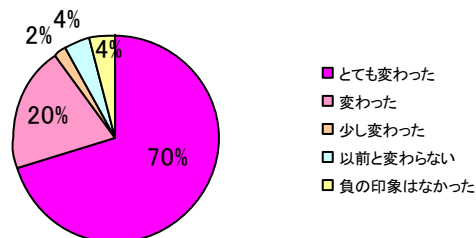
VOICE OF HEART を聴いた障害を持たない人への質問

※注3

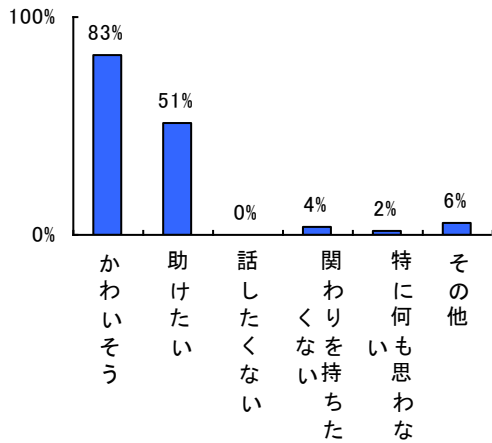
Q: 番組を聴いて障害者の抱える問題や悩みについて理解できましたか？



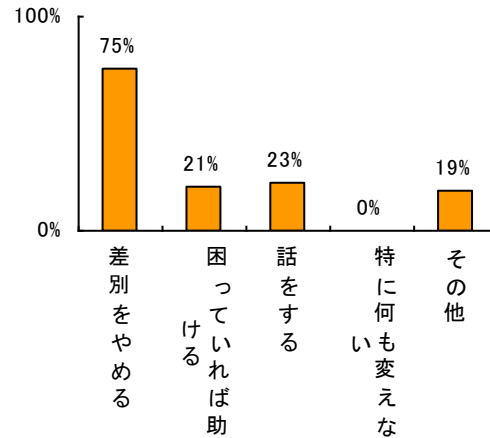
Q: 番組を聴いて障害者に対する印象は変化しましたか？



Q: 番組を聴く前は障害者に対してどのような印象を持っていましたか？
(複数回答可)



Q: 番組を聴いて障害者に対する態度をどう変えようと思いましたか？
(複数回答可)



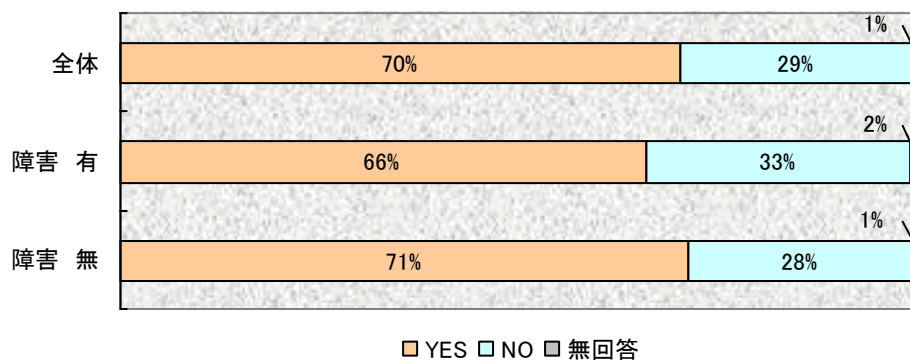
障害者への差別や偏見をなくすことも「VOICE OF HEART」の目的のひとつである。障害を持たない人が番組を聴いて、障害者の気持ちを理解し、障害者に対する印象や考え方ははっきりと変化させていることが見てとれる。

注1：番組を聴いた方の中から100人に質問。
注2：注1のうち、50人の障害を持つ人に質問。
注3：注1のうち、50人の障害を持たない人に質問。

④そもそもラジオの所有率はどのくらいか？

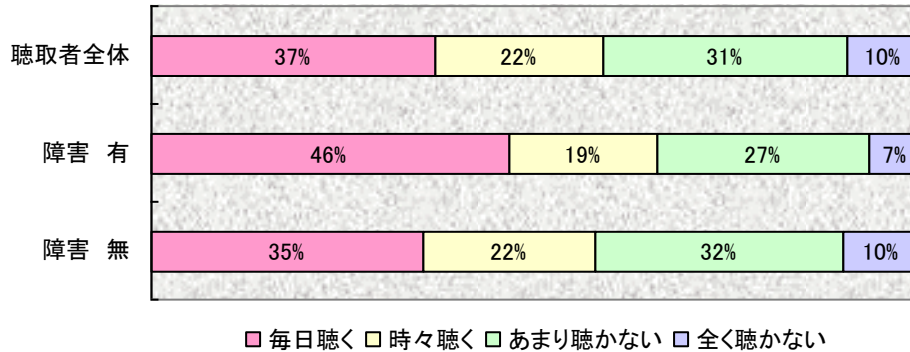
可聴エリアの住民2,000人に質問

Q: ラジオを持っていますか？



ラジオ所有者に質問

Q:どのくらいの頻度で聴いていますか？



全体としてラジオの所有率は70%であった。また、障害を持っている人のほうがよくラジオを聴いていることが分かった。

⑤番組に対する感想・意見

感想

障害のある人

多数意見

- ・ 番組を聴いて生きる希望が湧いてきました！
- ・ 番組を聴いてからはものごとを悪い方に考えるのをやめました！
- ・ モノやお金ではなく、言葉のみで障害者を支援できるこの番組は本当に素晴らしい！
- ・ 私の知る限り、障害者に特化した番組なんて今までなかったよ、最高だよ。これからは是非続けて欲しい！
- ・ この番組をきっかけにカンボジア社会が徐々に障害者を受け入れられる体制にシフトしていきそうな予感さえします。
- ・ 番組を聴く前は一人で殻に閉じこもって悩んでいたけど、聴いてからは「苦しんでいるのは自分ひとりじゃないんだ」って、今はすごく前向きに生きてるよ！
- ・ こんな番組があるだなんて夢にも思わなかったです。毎回欠かさず聴いていましたよ。
- ・ 具体的にはわからないけど、何かに挑戦してみたいと思うようになったよ！
- ・ 番組を聴いた私のような障害者は、間違いなく人生に希望の光を見出すことができると思うよ。
- ・ 聴いた後は「一人で悩む必要なんかないんだ！」って思えるようになりました。
- ・ CMCがこの番組を続ければ障害者に対する差別は間違いなく減ると思う。
- ・ そうだよ、私たちは身体こそ障害を背負ってはいるが、心は皆と同じなんだ！

※上記のような感想が多かった。以下にリスナーの思いを一人一人記す。

- ・ この番組、とても好きです。聴くたびに、まるで私の胸に突き刺さっていたトゲがスーッと抜けたかのように感じるんです。(バンテアイミエンチェイ 25 歳女性)
- ・ 以前は家に閉じこもって将来について一人で悩んでいました。でも今は私もまだ生涯のない人のように幸せな人生を歩むことができるのだとわかって嬉しいです。(バタンバン 25 歳女性)
- ・ 番組を聴いて自信がでてきた！前は家から一歩も出たくなかったけど、今はどこかに遊びに繰り出したって毎日思うよ。(バタンバン 22 歳男性)
- ・ 以前と何も変わらないよ。軍は兵の使い方は知っているけど、守り方までは知らないんだ。(地雷を踏む前は政府は生活の保証をしてくれていたが踏んだ後は知らん振り。)(バタンバン男性)
- ・ 私はトラクターを運転しているときに地雷を踏んで、トラクターの破片が刺さって右足を切断しました。それからというもの、私の目の前の人生はただただ絶望の一色で、生きる希望を失い、自殺しようと考えていました。でも番組を聴いてからはそんなことを考えるのはやめました。生きる希望が湧いてきたんです。私も番組に出ていた人たちのように、スキルを身につけて、働いて、幸せに暮らしていきたいです。今いるリハビリセンターを出た後は電化製品の修理技術を学びたいです。(バタンバン 25 歳男性)
- ・ 番組は最終回を 1 回だけ聴いただけですが、本当に感謝しています。聴く前はいつも考えていました。「たった 3 粒飲むだけで楽になることができるんだ。」と。自殺しようとしていたのです。でも今ではそんなことは考えていません。英語とコンピューターの技術を学んで、一生懸命がんばって働いて、有意義な将来をおくりたいです。(バタンバン 23 男性)
- ・ 俺は地雷を踏んだ後、妻と離婚した。妻の親族から離婚を迫られたんだ。もちろん俺は離婚したくはなかったけど、俺に妻を引きとめる権利はなかった。だって俺は障害者だし、妻の幸せは保証できなかったからね。離婚してからは本当に落ち込んでいたよ。リハビリセンターの医者やスタッフがいつも励ましてくれてはいたが、何も考えることが出来なかった。でも番組を聴いてからは前向きなものごとを考えるようになった。精神的に強くなったよ。ありがとう！(バタンバン 37 歳男性)

障害のない人

多数意見

- ・ 番組を通じて私たちは障害者の方々から数多くのことを学びました。
- ・ 障害者のことを大切にし、励ましてあげたくなった！
- ・ 障害を持った人も、持っていない人も、同じ人間であり、何の違いもないんだ！
- ・ 障害者の気持ちを知ることが出来てよかった！もっと聴きたい。
- ・ ラジオを聴いて、障害を負いながらも必死に生きようとする障害者を尊敬するようになった。
- ・ この番組は人々に障害者の悩みや苦勞を考えさせるきっかけになるからいいと思うよ。
- ・ CMC の DJ から地雷や不発弾にかんして多くのことを学びました、ありがとう
- ・ 障害者が幸せに暮らせることを願ってやみません。
- ・ 障害があるのは身体だけ。障害のない人よりも優れた考えをもった障害者もたくさんいることがわかったよ。
- ・ ラジオを聴いて、障害者の皆さんにたくさんの勇気をもらいました。私も彼らに負けないくらい頑張ろうと思います。

以下にリスナーの思いを一人一人記す。

- ・ ラジオを聴いて「障害者の皆さん、どうか死のうなどと考えないでください。死は何の問題解決にもなりません。」

と絶望にくれる障害者の方々に言いたくなりました。

- ・ 番組を聴いて、苦勞しながらも必死に生きようとする障害者がたくさんいることが分かった。俺たちは障害者に職を与える機会をつくるよう政府にもっと訴えかけなければならない。
- ・ 聴く前と聴いた後の、僕の障害者に対する印象は全く違う。聴く前は、障害者はただ、誰の助けも得られないかわいそうな人だとばかり思っていた。でも聴いた後は、彼らだって職を得て、何かを成し遂げることが出来るとうわかって、彼らを応援したくなったよ。
- ・ 聴く前は障害者の人々を目にしても特に気にかけてはなかった。でも聴いた後は彼らのことを応援したい気持ちでいっぱいになったよ。お金さえあれば支援してあげたい。
- ・ 聴く前は、障害者の方々が障害のない人のように勉強したり職業的な技術を身につけていることを知らなかった。彼らはただ物乞いをしてお金を手に入れているだけかと思っていた。そして障害者の抱える悩みや苦勞を全く知らなかった。もしどこかで物乞いをする障害者を見つけたら、番組で紹介された職業訓練校のことを彼らに教えてあげようと思う。
- ・ いい番組だとは思うよ。でも障害を持たない人でさえ、明日の食事のことを心配しているひとは山ほどいる。障害者のことを助けてあげたいとは思うけれど、いまは自分の家族のことを考えるので精一杯だよ。
- ・ 聴く前は障害者はなぜ障害者になったのか分からなかった。でも今は彼らの悩みや苦勞が分かって、彼らのことを励ましてあげたい。
- ・ この国はまだ戦争が終わったばかりで、たくさんの障害者がいる。私は番組を聴く前は、障害者はただ物乞いをしているだけと思っていた。物乞いは生産活動ではないので、国の成長になんら貢献しない。だから多くの物乞いの存在はこの国の成長の妨げになる。私はいつもそのことを心配していた。でも番組を聴いて、彼らも職を見つけることができることがわかって安心した。CMCさん、これからも頑張ってください。
- ・ これからは、バイクやTVの修理を頼むときは障害者の修理工に頼もうと思うよ、彼らの生活を助けたいからね！
- ・ 聴く前は何も理解できていませんでした。でも今では、障害者だって私たち障害のない人のように笑ったり、泣いたり、怒ったりして人生を謳歌することが出来るんだとわかりました。

意見

- ・ もっと詩のコーナーの時間を長くしてください。
- ・ 毎日放送してください！半永久的に放送を続けて欲しい！)
- ・ 毎回毎回放送を楽しみにしていました。放送日と時間帯も覚えています！お願いです、放送を続けてください！
- ・ 週2回放送してください。
- ・ CMCさん、障害者の方をたくさん助けてあげて！
- ・ 地雷被害者を減らすためにもっと田舎の農村部でも放送してください。
- ・ 放送時間が短すぎ！もっと長く放送してよ！
- ・ 放送を続けて、より多くの障害者を励ましてください！
- ・ 障害者を助けてあげたい！と思うようになったけど、その方法が分かりません。私にできることを教えてください。
- ・ 聴いた後、これまで私が障害者に敬意を払ってこなかったことを強く後悔した。
- ・ パイリンの放送局でも放送してください！

評価

ラジオ番組「VOICE OF HEART」の目的は地雷・不発弾被害者の心のケアと、新たな被害者の減少である。そのために地雷被害者の多い地域に向けて放送を行ってきた。しか

し、ラジオを聴く人が少ない限りはこれらの目的の達成は困難だ。今回の調査結果では視聴率は全体で 43%であった。前回の放送（2005 年 1 月）の視聴率は 20%であったので、これは高く評価できる。だが前回は 1 週間の放送だったので比較すること自体には意味がないかもしれない。それでも事実として、よりたくさんの人に「VOICE OF HEART」を聴いてもらうことができた。

そして、8 割弱のリスナーが番組を聴いて地雷・不発弾の危険性を意識したことが分かった。地雷や不発弾の被害は、それらの危険性を意識していないが故に起こってしまうことが多い。「VOICE OF HEART」を聴いて、人々が地雷原で農作業をすることをやめれば、また、子供たちが不発弾で遊ぶようなことをやめれば必ず地雷・不発弾の被害は減るだろう。

また、アンケートに回答した障害者全員がものごとを前向きに考えるようになったと回答した。中には番組のおかげで自殺を思いとどまった地雷被害者のリスナーまでいた。「VOICE OF HEART」は障害を持った人々に希望の光をもたらしたのだ。さらに障害を持っていない人においても、ほとんどの人が番組を聴いて障害者の気持ちを理解し、障害を持った人への印象が良い方向に変化したと答えている。「VOICE OF HEART」を聴いた人々が差別をやめ、障害を持った人々に救いの手を差し伸べることが出来れば、カンボジア社会がノーマライゼーションを実現できる日も近いはずだ。

プロジェクトの目的の 1 つである「地雷・不発弾被害者の心のケア」はデジタル化することが困難であるため、実際にどのくらいの人が、どの程度、番組によって心の傷を癒すことが出来たのかは詳細には分からない。しかし、集計結果を見る限りでは、この目標は達成されたと言えよう。さらに「新たな被害者の減少」という目標に関しては、評価をすることが難しい。被害者の数字こそわかるが、仮に被害者が減少してもそれは必ずしも今回の番組だけの効果とは限らないからだ。しかしながら、これに関しても、集計結果より地雷・不発弾の危険性を多くのリスナーが認識でき、未来の被害者を減少させたと考えられるので、目標は達成されたと言えるのではないだろうか。

集計結果より、「VOICE OF HEART」へのカンボジア社会の期待は大きく、ニーズも高いことが分かる。昨年 11 月で放送は終わったが、それが障害者にとって、希望にあふれた人生への道先案内人たりうる限り、また、未来の地雷・不発弾被害者への大きな警告標識たりうる限り、「VOICE OF HEART」は必ずまた復活する。